

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025		2. 開講学期	第1学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目 キャリア形成支援分野 2024年度以降 キャリア形成		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) アクティブラーニング入門 (英文名) Learning Methods of Active Learners				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 体験する教室 (英文名) Experience in Classroom				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 高畑 貴志 (ローマ字) TAKABATAKE Takashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年生	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	参加型授業, アイスブレイキング, 反転授業 Active Learning, Ice breaking, Flipped Classroom				
21. 授業概要	最新の小・中学校(2019年度告示), および, 高等学校(2020年度告示)の学習指導要領には, 知識理 解の質を高め資質・能力を育むため, 主体的・対話的で深い学びというキーワードでアクティブラーニン グが取り入れられています。この授業では, いくつかのアクティブラーニングのパターンを教材化したも のです。この教材を受講者がアクティブ(能動的)に学んでアクティブラーナーとなり, 将来教員になって, あるいは就職した後教育係となって, 子供の親となって, アクティブラーニングの実践ができるようにな ることを目指しています。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	・学習者が主体的に学ぶとはどういうことかわかる。 ・学習者が主体的に学ぶためにどのようなサポートが必要かわかる。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	アクティブラーニングを実施する上で, どのような準備(環境整備)が必要か説明できる。 失敗しないグループワークのために, 必要なことが3つ以上言える。				☑

	学習者の参加を促すために、注意を払わなければならないこと(教員の視点)が3つ言える。 試験紙法の手順が説明できる。 PBLが効果的な授業と、試験紙法が効果的な授業のタイプ分けができる。	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 初回の授業すべきこと 第2回 授業の最初にすべきこと 第3回 学生からのフィードバックを得る方法 第4回 失敗しないグループワークのために 第5回 勉強の仕方を教える 第6回 反転授業をやってみよう 第7回 プレゼンテーションのコツ 第8回 ICTを使う 期末試験 補助教材 オンライン授業での工夫 【授業及び学習の方法】 1～5の手順で学修を進めてください。1～4は毎回の授業に用意されています。 1.講義テキストを読み内容を理解する。 2.講義テキストの内容を、以下の(i)～(iii)の要領で、自分なりの言葉でノートにまとめる。 (i)テキストの各段落を、1文で要約する。 (ii)テキストのまとまりごとに、その部分で著者が最も伝えたいことを1文に要約する。 (iii)1文にまとめきれなかった内容を、自由な形式で補足する。 3.レポートの作成 2でノートにまとめた(i),(ii)の要約文から、毎回の指示に沿って抜粋したものをmoodleに提出する。 レポートは提出後にチェックされます。再提出を求められる場合があります。 4.章末テスト 2回まで受験可能です。 5.期末試験 1回だけ受験が可能です。	☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	非同期型(オンデマンド)のオンライン授業のため、授業時間内・授業時間外という枠はありません。 eラーニングシステム moodle上のコンテンツを確認した上で、提示された活動に取り組んでもらいます。	☒

28. 成績評価の方法と基準	・毎回のレポート 40% レポートは全て提出すること。 ・毎回のレポート追加点 10% Goodの評価を受けている場合の加点 ・章末テスト 30% 十分な予習時間を取り、間違えずに短時間で全問正解すること。誤答すると減点されます。2回受験が可能で、2回受験した場合は平均点が成績として加算されます。 ・期末試験 20% ・単位修得のためには、全ての課題を終えた上で合計60点以上の点数を取得する必要があります。				☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし			☒
	連携大学学生向け	なし			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学15名・徳島大学15名・鳴門教育大学15名・高知大学15名・愛媛大学15名				☒
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	各章の章末テストに、標準的なスケジュール(解答期限)を設定しています。テストを受ける前にレポートを提出するため、レポート締切も同時期と考えて下さい。毎回のレポートを全て提出し、章末テストや期末試験を受験すること。 * 締切に遅れても、必ず毎回のレポートを提出し、章末テストを受験してください。ただし、期末試験受験期限以降の評価は行いません。 * 章末テストは2回受験可能で、2回受験した場合は平均点を成績とします。1回で高得点を得た場合、2回目を受験する必要はありません。 * 標準スケジュールで示した各回の締切後にレポートをチェックし、コメントを返します。コメントを確認してください。レポートのまとめ方と評価基準を設定していますので、「受講の仕方」をよく読んで下さい。指示されたまとめ方に沿っていない場合、合格に満たない場合は再提出が必要となります。 * 生成AIを利用してノートやレポートを作成することは禁止します。				☒
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			☐
I S B N		著者名			
出版社		出版年			
金額		備考			
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			☐
		I S B N	著者名		
		出版社	出版年		
		金額	備考		
	参考書2	書名			
		I S B N	著者名		
		出版社	出版年		
		金額	備考		
	参考書3	書名			

		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/					☒
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受 講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目		なし		☒
37. 教員相互参観授 業公開日程						☐
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	なし				☒
	連携大学 学生向け	なし				☒
39. 連絡先／学生相 談場所／学生開示用 メール	自大学 学生向け	moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム)を利用すること。				☒
	連携大学 学生向け	moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム)を利用すること。				☒
40. 教員の実務経験 について	なし					☒
41. バリアフリー対応	講義テキストはPDFとなっています。参考動画が1本ありますが、字幕が加えられています。					☒
42. その他／備考	moodleの使い方についての問い合わせ先: elmanabi@kochi-u.ac.jp					☒

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025		2. 開講学期	第1学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	農林海洋科学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	専門教育 専門科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 海洋地球科学概論				
	Marine Geoscience				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 知られざる「海洋」の理解と地球における役割				
	(英文名) Oceanography and Earth Science				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 村山 雅史				
	(ローマ字) MURAYAMA Masafumi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必修区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年生	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	地球科学入門, 地球科 学概論	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	地球科学入門(04035) 地球科学概論(80915)
	連携大学 学生向け	なし		連 携 大 学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	海洋の動態, 海洋地球科学, 生物地球化学サイクル, 地球環境 Oceanography, Marine Geoscience, Biogeochemical Cycle, Earth Environments				
21. 授業概要	太陽系惑星で唯一存在する地球の海洋の成り立ちと役割について学び, 地球規模での様々な物質循環や気候変動について理解する。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	受講生は, 地球表層環境における海洋の果たす役割をよりよく理解するために, 海の成り立ち, 海水の循環と物質循環, 海底の動きや地球内部動態, 堆積物に刻まれた地球環境の歴史と生命の進化に関する事を学ぶ。とくに, 地球誕生から表層圏(大気圏, 水圏, 地圏, 生物圏)の生命進化の過程で, 海洋の成り立ちおよび海洋の果たしてきた役割を理解する。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	海洋学, 地球科学, 地球表層環境を説明できる。学習手法の判断ができる。				☑

24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）			
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	【授業スケジュール】 第1回 地球における海洋の役割 第2回 海はどのように形成されたか？ 第3回 海水の性質 第4回 海の循環 第5回 海の循環にともなう物質循環 第6回 海底地形 第7回 海底堆積物の種類I 第8回 海底堆積物の種類II 第9回 海洋観測（手法，歴史，船の生活）について 第10回 海洋底に記録される環境の記憶 第11回 新生代気候変動「地球寒冷化」 第12回 地球温暖化と海洋酸性化 第13回 プレートテクトニクス 第14回 海底下生命圏の研究 第15回 海底資源（メタンハイドレート）		☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	参考図書を熟読すること，受講ノートの復習		☒
28. 成績評価の方法と基準	各講義の終了後に講義内容に関する10点満点の小テストをLMS上で実施する。定められた期限内に15回の講義コンテンツのうち最低10回以上の講義を聴き，小テストに解答することが必須条件である。 15回の講義終了時に，15回の小テストの合計点（150点満点）を100点満点に換算して評価する。 なお期末試験は実施しない。		☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	☒
	連携大学学生向け	なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限：あり 香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学なし・愛媛大学10名		☒
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-learning形式の講義であるため，履修に必要な手続きをしておく必要がある。講義コンテンツはmoodle(LMS)システムを通して配信するので，moodleの使い方等について十分理解しておくこと。また，ノートを準備し，受講中に要点や専門用語を書き留めて，自分なりの講義ノートを作成すること。理解できなかった箇所は，推薦図書を参考に必ず復習をおこなうこと。		☒

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																																																																																						
教科書1	書名																																																																																																																											
	I S B N		著者名																																																																																																																									
	出版社		出版年																																																																																																																									
	金額		備考																																																																																																																									
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">海洋地球化学</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>978-4-06-155237-1</td> <td>著者名</td> <td>蒲生俊敬編</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社サイエンティフィック</td> <td>出版年</td> <td>2014</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>4,600</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">海洋地球環境学—生物地球化学循環から読む</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>978-4-13-060752-0</td> <td>著者名</td> <td>川幡穂高</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東大出版会</td> <td>出版年</td> <td>2011</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>3,600</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3">地球・惑星・生命</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>978-4-13-063715-2</td> <td>著者名</td> <td>日本地球惑星科学連合</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東大出版会</td> <td>出版年</td> <td>2020</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,300</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書4</td> <td>書名</td> <td colspan="3">地質学I: 地球のダイナミクス</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>4-00-006240-9</td> <td>著者名</td> <td>平 朝彦</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>岩波書店</td> <td>出版年</td> <td>2001</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書5</td> <td>書名</td> <td colspan="3">地質学II: 地層の解読</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>4-00-006241-7</td> <td>著者名</td> <td>平 朝彦</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>岩波書店</td> <td>出版年</td> <td>2004</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書6</td> <td>書名</td> <td colspan="3">地質学III: 地球史の探求</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>4-00-006242-8</td> <td>著者名</td> <td>平 朝彦</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>岩波書店</td> <td>出版年</td> <td>2007</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書7</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名	海洋地球化学			I S B N	978-4-06-155237-1	著者名	蒲生俊敬編	出版社	講談社サイエンティフィック	出版年	2014	金額	4,600	備考		参考書2	書名	海洋地球環境学—生物地球化学循環から読む			I S B N	978-4-13-060752-0	著者名	川幡穂高	出版社	東大出版会	出版年	2011	金額	3,600	備考		参考書3	書名	地球・惑星・生命			I S B N	978-4-13-063715-2	著者名	日本地球惑星科学連合	出版社	東大出版会	出版年	2020	金額	2,300	備考		参考書4	書名	地質学I: 地球のダイナミクス			I S B N	4-00-006240-9	著者名	平 朝彦	出版社	岩波書店	出版年	2001	金額		備考		参考書5	書名	地質学II: 地層の解読			I S B N	4-00-006241-7	著者名	平 朝彦	出版社	岩波書店	出版年	2004	金額		備考		参考書6	書名	地質学III: 地球史の探求			I S B N	4-00-006242-8	著者名	平 朝彦	出版社	岩波書店	出版年	2007	金額		備考		参考書7	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☒
参考書1	書名	海洋地球化学																																																																																																																										
	I S B N	978-4-06-155237-1	著者名	蒲生俊敬編																																																																																																																								
	出版社	講談社サイエンティフィック	出版年	2014																																																																																																																								
	金額	4,600	備考																																																																																																																									
参考書2	書名	海洋地球環境学—生物地球化学循環から読む																																																																																																																										
	I S B N	978-4-13-060752-0	著者名	川幡穂高																																																																																																																								
	出版社	東大出版会	出版年	2011																																																																																																																								
	金額	3,600	備考																																																																																																																									
参考書3	書名	地球・惑星・生命																																																																																																																										
	I S B N	978-4-13-063715-2	著者名	日本地球惑星科学連合																																																																																																																								
	出版社	東大出版会	出版年	2020																																																																																																																								
	金額	2,300	備考																																																																																																																									
参考書4	書名	地質学I: 地球のダイナミクス																																																																																																																										
	I S B N	4-00-006240-9	著者名	平 朝彦																																																																																																																								
	出版社	岩波書店	出版年	2001																																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																																									
参考書5	書名	地質学II: 地層の解読																																																																																																																										
	I S B N	4-00-006241-7	著者名	平 朝彦																																																																																																																								
	出版社	岩波書店	出版年	2004																																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																																									
参考書6	書名	地質学III: 地球史の探求																																																																																																																										
	I S B N	4-00-006242-8	著者名	平 朝彦																																																																																																																								
	出版社	岩波書店	出版年	2007																																																																																																																								
	金額		備考																																																																																																																									
参考書7	書名																																																																																																																											
	I S B N		著者名																																																																																																																									
	出版社		出版年																																																																																																																									
	金額		備考																																																																																																																									
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☒																																																																																																																							

35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	☒
37. 教員相互参観授業公開日程				☐
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	メール(murayama@kochi-u.ac.jp)にて、要予約。授業の前後にも受け付けます		☒
	連携大学 学生向け	moodle(e-learningシステム)上の専用掲示板「お知らせ」を利用し連絡すること		☒
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	moodle(e-learningシステム)上の専用掲示板「お知らせ」を利用すること		☒
	連携大学 学生向け	moodle(e-learningシステム)上の専用掲示板「お知らせ」を利用すること		☒
40. 教員の実務経験について	なし			☒
41. バリアフリー対応	なし			☒
42. その他／備考				☐

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025		2. 開講学期	第1学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目社会分野 2024年度以降 人文・社会科学系領域		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) マンガと社会 (英文名) Manga and Society				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) マンガを活用した地域の振興と発展 (英文名) Promotion and Development of the Region using Manga				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 岩崎 保道 (ローマ字) IWASAKI, Yasumichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必修区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	全学部全学科	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	マンガ(漫画、まんが) コミック 文化政策 地域振興 Manga, Comic, Cultural Policy, Regional Promotion				
21. 授業概要	近年、マンガは文化や産業の振興に一定の役割を果たすなど、社会的に影響を持つようになり、海外にもマンガ文化が発信され注目されています。このような背景の下、マンガに関わる政策的な取り組みや、マンガを地域の活性化に活用するなど、多種多様な活動が盛んに行われています。 一方、マンガに関わる教育研究が深化しており、学術研究の分野を築いています。当授業は、このような身近な存在であるマンガの歴史的な発展をはじめ、文化・産業面での動向や地域振興への活用状況などを解説します。また、高知県が多くのマンガ家を輩出してきたことや、マンガに関わる取り組みの先進県であることを踏まえ、四国4県のマンガ事情を紹介します。 以上の趣旨により、具体的なテーマとして「マンガの歴史」「マンガを活用した地域振興」「マンガに関わる学術研究」「マンガ産業の動向」「高知県、愛媛県、香川県、徳島県に関わるマンガ家」などを取り上げます。				



22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	(1) マンガの歴史的発展や社会的役割を理解する (2) マンガを活用した地域振興の状況を理解する (3) マンガの学術的成果を把握する (4) 高知県、愛媛県、香川県、徳島県のマンガ事情を把握する	☒
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1) マンガの歴史的発展や社会的役割が理解できるようになる (2) マンガを活用した地域振興の状況が理解できるようになる (3) 高知県、愛媛県、香川県、徳島県のマンガ事情が説明できるようになる	☒
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)		
25. カリキュラムマッ プ(授業科目の主題・ 授業科目の到達目標 とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授 業及び学習の方法	第1回 ガイダンス (本講義の概要説明) 第2回 マンガの歴史(1) (江戸時代から大正時代までのマンガに関わる歴史) 第3回 マンガの歴史(2) (昭和時代以降のマンガに関わる動向について) 第4回 文化政策とマンガ (国や地方都市におけるマンガに関わる文化政策) 第5回 マンガ・アニメを活用した地域振興(1)イベント (マンガ・アニメに関わるイベントやその効果について) 第6回 マンガ・アニメを活用した地域振興(2)コンテンツツーリズム (コンテンツツーリズムの動向や実例の紹介) 第7回 マンガに関わる施設 (マンガに関わる施設の目的や機能について) 第8回 マンガを活用した地域振興に関するレポート (受講生がマンガに関わる地域振興等の状況を調査して報告する) 第9回 マンガの研究 (マンガに関わる研究機関や研究成果) 第10回 マンガを教育する大学 (マンガに関わる大学教育の紹介) 第11回 マンガ産業の動向 (コミック等の売り上げの推移や、業界の課題など) 第12回 高知県のマンガ事情 (高知県出身のマンガ家や作品について) 第13回 愛媛県、香川県、徳島県のマンガ事情 (各県出身のマンガ家や作品について)	☒

	第14回 マンガとチカラと未来 (マンガの利活用とコミック工学) 第15回 受講生の発表 (マンガと社会に関するもの)		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	受講生に対しては、関連資料の収集及びその予備学習を望みます。また、毎回の授業内容を復習し、理解を深めておく必要があります。具体的には、各回の授業テーマに則した状況調査や分析など、週に4時間程度の考察が求められます。また、関心を持った事項を自主的に調べるなど積極的な学習態度で学んでください。	☒	
28. 成績評価の方法と基準	評価基準: 下記の平常点及びレポート試験が達成目標に達しているか総合的に判断します。 評価方法: 授業に対する積極性や小レポート(50点)、レポート試験(50点)とします。定期試験に代えてレポート試験を課します。単位取得条件として、合計60点以上を取得する必要があります。なお、モジュール内の学修が出席に相当します。	☒	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	☒
	連携大学学生向け	なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: あり・ 香川大学80名・徳島大学80名・鳴門教育大学10名・高知大学250名・愛媛大学80名		☒
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	【コメント】 マンガが社会に浸透していることを背景として、マンガの社会的な役割が見直されています。例えば、文化や地域の振興に役立てられ公益的な側面でも取り入れられるようになりました。また、マンガが文化政策のなかに取り入れられていたり、イベントなどの地域振興にマンガが活用されています。マンガは私たちに楽しみや喜び、時には学びや癒しをもたらしてくれる存在であり、日常に溶け込んでいるものと言えるでしょう。 マンガが果たす役割などを様々な観点で学ぶことは、マンガの存在意義や在り方を確認することを通じて、豊かな社会環境づくりに寄与する考察になると考えます。このように、マンガは多様な側面を持っていますが、ご存じない事柄があるかもしれません。その意味において、この授業を通じて、マンガに関わる新たな知見や学びを得ることができると思います。 マンガの社会的な在り方に関心を持つ学生の積極的な参加を期待します。以上のことから、マンガに関わる基礎的な知識や近年の動向について、事前学習を踏まえ自分の考えを整理しておくことを望みます。私たちの日常の中で、マンガが社会にどのように関わり、影響しているのか授業を通じて多く学んでいただきたいです。この分野に関心を持つ学生の積極的な参加を期待します。なお、当授業は専門知識を持たない方にも分かりやすく説明します。 【注意点】 授業方法はビデオ(または課題の提示)を主として教科書を使いながら授業を進めていきます。また、当授業では学生の疑問を受け付けて、それに対する回答を行うことにより理解を高めます。各回の授業において求める小レポート等の提出は必須であり、対面式授業の出席に該当します。そのため、(15回の授業のうち)10回以上の提出が確認できない場合、単位取得の条件を満たさないことになるので注意してください。		☒

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	『マンガと社会』			☒
		I S B N	4910284168	著者名	岩崎保道	
		出版社	高知新聞総合印刷	出版年	2022年	
		金額	2,200円	備考	紙媒体と電子書籍の両方で販売(いずれかを購入)	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				☒
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Web テキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/					☒
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目		なし	☒	
37. 教員相互参観授業公開日程						☒
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	あらかじめ電子メール(yiwasaki@kochi-u.ac.jp)にて予約すること 岩崎研究室(高知大学 教育学部1号館5階)				☒
	連携大学 学生向け	なし				☒
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール(yiwasaki@kochi-u.ac.jp)にて連絡すること				☒
	連携大学 学生向け	電子メール(yiwasaki@kochi-u.ac.jp)にて連絡すること				☒
40. 教員の実務経験について	なし					☒
41. バリアフリー対応	授業動画は全て字幕付き					☒
42. その他／備考	なし					☒

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025	2. 開講学期	第1学期
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育	4. 授業形態／授業種別	eラーニング
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	2023年度以前 教養科目自然分野 2024年度以降 視野を広げる科目／自然科学系領域	6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 体験的に学ぶ生成AI (英文名) Experimental Learning of Generative AIs		
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) とにかく生成AIを使ってみよう! (英文名) Let's Try Generative AIs		
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 高畑 貴志 (ローマ字) TAKABATAKE Takashi		
10. 時間割コード／申請コード／授業コード		11. 昼夜	
12. 単位数	1	13. 選必修区分／単位区分	なし
14. 対象学生	全学部全学科	15. 対象年次／区分等／標準履修年次	なし
16. 曜日・時限	なし	17. 講義室	
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け なし 連携大学 学生向け なし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け なし 連携大学 学生向け なし
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	生成AI, 情報リテラシー, ChatGPT Generative AI, Information Literacy, ChatGPT		
21. 授業概要	ChatGPTに代表される生成AIをとにかく使ってみることで、その性能だけでなく現時点での限界や注意点を体験的に学習します。日々進化する生成AIに対応するため、最新の情報を自ら取得して活用する経験を積みます。それに伴い、情報の正確さや信憑性について理解を深めます。また、生成AIの基本的な仕組みや、生成AIを使用する際の注意点を学びます。生成AIの理解や活用に役立つ情報と、各自が取り組んだ活動の成果を受講生間で共有し、生成AIに関する知識を広げます。これらの経験をもとに、生成AIを自分のために活用できるようになることを目指します。		☑
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	生成AIの利用を通じて生成AIへの理解を深め、将来にわたって主体的に生成AIを利活用できる能力を身に付けることがこの授業の目的です。		☑
23. 授業の到達目標／学修課題	1.生成AIの実践的な活用方法を調べ、実践することができる。 2.情報の正確さや信憑性を判断する際に気を付けるべき点を3つ以上挙げられる。 3.ChatGPTの基本的な仕組みを踏まえ、それに由来する制限や限界を3つ以上挙げられる。 4.ChatGPTの基本的な仕組みに由来する制限や限界以外に、生成AIを利用する際に注意すべき点を3		☑

	つ以上挙げられる。 5.自分の必要・興味に応じて、生成AIを活用出来る。 6.生成AIが生活や働き方に及ぼす影響について、自分の言葉で語ることができる。 ※授業開講時点で利用可能な生成AIサービスの状況により、一部変更になる可能性があります。	
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	【授業計画】 1. 授業に関するガイダンス 2. 文章生成AIの仕組みを知る 3. 文章生成AIを活用する 4. 画像生成AIを利用する 5. 生成AIに関する注意事項を確認する 6. 公開されている試験問題を解かせてみる 7. 応用課題に取り組む 8. 進化する生成AIとその行く末を考える 【学習の方法】 ・毎回の授業で行うべきこと、それに関連する説明、参考情報をまとめた資料に目を通し、必須とされている参考情報を確認します。 ・各回（毎回ではありません）には、選択式の知識確認問題が用意されます。（何度回答してもOK＆最高得点で評価します。） ・各回には、生成AIを利用する課題を設けます。各自情報収集の上、課題に取り組んでください。 ・提出された各回の課題は、提出後切後に受講者間で共有されます。他の受講生の提出課題知識を広げます。 ・各回では、課題とは別に学習の振り返りの提出を求めます。こちらは受講者間で共有されることはありません。受講者間で共有されたそれまでの回の提出課題に対するコメントを求められることがあります。 ・応用課題では、各自が興味・必要に応じてテーマを設定して独自に生成AIを活用し、そのプロセスと結果をまとめたレポートを提出することが求められます。このレポートも受講者間で共有されます。 ・授業の開講期間を通じて、生成AIに関連する情報を見つけ、受講者間で共有できるよう提供することが求められます。（フォームへの投稿の形での情報共有を想定しています。） ・最終回には選択式の知識確認問題が課せられます。こちらは1回のみ受験可能です。 ・期末レポートとして、これまでの学習の振り返りと、生成AIもたらす影響についての自分の考えをまとめることが求められます。	☒

27. 授業時間外学習にかかわる情報	オンデマンド形式の授業であるため授業時間内／外の境界はあいまいですが、生成AIを用いた課題への取り組みやそのための情報収集が、授業時間外の学習として想定されています。また、応用課題と期末レポートでは通常の授業回よりも多く時間の学習が授業外で求められます。これらを平均すると、1授業回あたり2～4時間程度の授業時間外学習が期待されます。		☒
28. 成績評価の方法と基準	・選択式の知識確認問題 10% ・各回の課題 20% ・各回の振り返り 20% ・生成AIに関する情報の提供 10% ・応用課題のレポート 15% ・期末レポート 25% 単位の修得には60点以上の成績が必要です。各回の学修活動が出席に相当します。		☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	☒
	連携大学学生向け	なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学_10名・徳島大学_10名・鳴門教育大学_5名・高知大学_10名・愛媛大学_10名		☒
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるものの	【担当教員からのメッセージ】 ChatGPTに象徴される生成AIは、その驚異的な性能から多くの注目を集めるとともに、様々な場面での活用が進んでいます。この授業では、膨大な投資と活発な研究に支えられて日々進化を続けている生成AIに、望む望まないに関わらずこの先付き合っていくことが求められるであろう皆さんが、とにかく生成AIを使ってみてその性能を実感し、生成AIをこれから活用していくための知識と経験を身に付けると共に、生成AIが社会や皆さんの生活に及ぼしていくであろう影響を、批判的な視点も交えつつ考えていくきっかけになればと思います。 【履修希望学生に求めるもの】 ・生成AIを知ろうとする知的好奇心、せっかくなので使ってみようという積極的な姿勢 ・分からないことをネット、書籍、論文等により、調べていくこと ・自分の調べたこと、作ったものを他の受講者と共有する寛容な態度 ・ChatGPTのアカウントとGoogleアカウントの2つを使います。持っていない方は作成を求めます。(有料版ライセンスは必要ありません。) 【授業に関する注意点】 ・「便利なプロンプトを沢山教えてもらえる」という期待には沿えません。自分で調べてもらいます。 ・大部分の課題において生成AIを利用した作成を認めますが、利用した生成AIやプロンプトに関する情報等の記載を求めます。 ・毎回の課題は、基本的に提出後切後に受講生間で共有します。ご了承ください。その際に添える作者名は、各自が希望したもの(匿名を含む)を使用します。 ・今後の生成AIのサービス提供状況等に応じて、授業計画の一部が変更される可能性があります。 ・受講生の提出物は、生成AIに入力して分析することを計画しています。そのことへの同意については授業内で調査しますが、ご協力をお願いします。		☒

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="373 159 517 353" rowspan="4">教科書1</td> <td data-bbox="517 159 676 203">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 159 1414 203"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 203 676 248">I S B N</td> <td data-bbox="676 203 948 248"></td> <td data-bbox="948 203 1107 248">著者名</td> <td data-bbox="1107 203 1414 248"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 248 676 293">出版社</td> <td data-bbox="676 248 948 293"></td> <td data-bbox="948 248 1107 293">出版年</td> <td data-bbox="1107 248 1414 293"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 293 676 353">金額</td> <td data-bbox="676 293 948 353"></td> <td data-bbox="948 293 1107 353">備考</td> <td data-bbox="1107 293 1414 353"></td> </tr> </table>				教科書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☒																																		
教科書1	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="373 405 517 600" rowspan="4">参考書1</td> <td data-bbox="517 405 676 450">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 405 1414 450">生成AIで世界はこう変わる</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 450 676 495">I S B N</td> <td data-bbox="676 450 948 495">9784815622978</td> <td data-bbox="948 450 1107 495">著者名</td> <td data-bbox="1107 450 1414 495">今井 翔太</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 495 676 539">出版社</td> <td data-bbox="676 495 948 539">SBクリエイティブ</td> <td data-bbox="948 495 1107 539">出版年</td> <td data-bbox="1107 495 1414 539">2024</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 539 676 600">金額</td> <td data-bbox="676 539 948 600">990円(税込み)</td> <td data-bbox="948 539 1107 600">備考</td> <td data-bbox="1107 539 1414 600"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 600 517 795" rowspan="4">参考書2</td> <td data-bbox="517 600 676 645">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 600 1414 645">ゼロからわかる 生成AI法律入門</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 645 676 689">I S B N</td> <td data-bbox="676 645 948 689">9784022519382</td> <td data-bbox="948 645 1107 689">著者名</td> <td data-bbox="1107 645 1414 689">増田雅史、輪千浩平 編著</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 689 676 734">出版社</td> <td data-bbox="676 689 948 734">朝日新聞出版</td> <td data-bbox="948 689 1107 734">出版年</td> <td data-bbox="1107 689 1414 734">2023</td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 734 676 795">金額</td> <td data-bbox="676 734 948 795">1760円(税込み)</td> <td data-bbox="948 734 1107 795">備考</td> <td data-bbox="1107 734 1414 795"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 795 517 999" rowspan="4">参考書3</td> <td data-bbox="517 795 676 840">書名</td> <td colspan="3" data-bbox="676 795 1414 840"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 840 676 884">I S B N</td> <td data-bbox="676 840 948 884"></td> <td data-bbox="948 840 1107 884">著者名</td> <td data-bbox="1107 840 1414 884"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 884 676 929">出版社</td> <td data-bbox="676 884 948 929"></td> <td data-bbox="948 884 1107 929">出版年</td> <td data-bbox="1107 884 1414 929"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="517 929 676 999">金額</td> <td data-bbox="676 929 948 999"></td> <td data-bbox="948 929 1107 999">備考</td> <td data-bbox="1107 929 1414 999"></td> </tr> </table>				参考書1	書名	生成AIで世界はこう変わる			I S B N	9784815622978	著者名	今井 翔太	出版社	SBクリエイティブ	出版年	2024	金額	990円(税込み)	備考		参考書2	書名	ゼロからわかる 生成AI法律入門			I S B N	9784022519382	著者名	増田雅史、輪千浩平 編著	出版社	朝日新聞出版	出版年	2023	金額	1760円(税込み)	備考		参考書3	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☒
参考書1	書名	生成AIで世界はこう変わる																																																						
	I S B N	9784815622978	著者名	今井 翔太																																																				
	出版社	SBクリエイティブ	出版年	2024																																																				
	金額	990円(税込み)	備考																																																					
参考書2	書名	ゼロからわかる 生成AI法律入門																																																						
	I S B N	9784022519382	著者名	増田雅史、輪千浩平 編著																																																				
	出版社	朝日新聞出版	出版年	2023																																																				
	金額	1760円(税込み)	備考																																																					
参考書3	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☒																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	☒																																																				
37. 教員相互参観授業公開日程					☐																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	なし			☒																																																			
	連携大学 学生向け	なし			☒																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	moodle上の専用掲示板(フォーラム)でいつでも受け付けています。他の受講生と共有することを望まない質問は、moodle上に掲載するアドレス宛でのメールで受け付けます。			☒																																																			
	連携大学 学生向け	moodle上の専用掲示板(フォーラム)でいつでも受け付けています。他の受講生と共有することを望まない質問は、moodle上に掲載するアドレス宛でのメールで受け付けます。			☒																																																			
40. 教員の実務経験	なし				☒																																																			
41. バリアフリー対応	教員が提供する動画には、テキスト版を添える。				☒																																																			
42. その他／備考	moodleの使い方についての問い合わせ先: elmanabi@kochi-u.ac.jp				☒																																																			

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025		2. 開講学期	第1学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	2023年度以前 教養科目 キャリア形 成支援分野 2024年度以降 生きる力を育む科目 キャリア形成		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 就職活動の基本と対策 (英文名) Job Hunting Basics and Strategies				
8. 副題(日本語・英 語)	なし なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 谷口 ちさ (ローマ字) TANIGUCHI Chisa				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	全学年(推奨年次:3年)	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	就職活動、自己PR、志望動機、面接、グループワーク job hunting, self-promotion, reason for applications, interviews, group work for employment examinations				
21. 授業概要	多くの学生にとって初めての経験となる就職活動。早めに内定を取るコツは早めに動くこと、そして納得のいく就職活動にするコツはたくさん動くことです。本授業では、就職活動のコツとポイントをできる限りシンプルにお伝えします。また、そのまま就職活動に活用できる個人ワークを実施いただきます。eラーニングの利点として、個人ワークに納得のいくまで取り組むことができます。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	1. 就職活動を通して自身のキャリアを考える機会を持つ 2. 授業を通じて夏のインターンシップに参加するための準備をする				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 就職活動の全体スケジュールを知り、計画を立てることができる 2. 自己分析、業界・企業・職種分析を行うことができる 3. 履歴書、エントリーシートの初版を作成することができる 4. 面接、グループワークのポイントを理解し、戦略を立てることができる				☑

24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）			
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	【授業計画】 1. 就職活動／インターンシップとは 2. 自己分析① ～キーワードとエピソード 3. 自己分析② ～職業選択理論(RIASEC) 4. 業界研究 ～業界地図の読み方 5. 企業・職種研究 ～就職四季報の読み方 6. エントリーシートの書き方① ～サンプルから学ぶ 7. エントリーシートの書き方② ～自己PRと志望動機の関係 8. 面接／グループディスカッションの心得 【授業の進め方】 1. moodle上の動画を視聴する 2. 期限までに授業ごとに設定された課題に取り組む		☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	● 課題実施時間を考慮して、授業動画は60分未満で構成します。課題はそのまま就職活動に活用するつもりで取り組んでください。したがって、必然的に授業時間外学習が想定されています。本授業を通じて就職活動準備を終わらせるつもりで、十分な課題実施時間を確保してください。		☒
28. 成績評価の方法と基準	● 毎回の課題提出 70% ● 最終課題の提出 30% ● 単位修得のためには合計60点以上を取得する必要がある。 ● 各回の学修活動が出席に相当する。		☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	☒
	連携大学学生向け	なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学 <u>15</u> 名・徳島大学 <u>15</u> 名・鳴門教育大学 <u>10</u> 名・高知大学 <u>45</u> 名・愛媛大学 <u>15</u> 名		☒
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	【受講のルール・履修上の注意】 ● この授業は、間もなく就職活動を行う学生を対象としています。 ● 課題の成果物はそのまま就職活動にご利用いただける内容です。そのため、時間をかけて真剣に取り組んでください。また受講後も、納得のいくまで課題のブラッシュアップを続けましょう。 【担当教員からのメッセージ】 ● 本授業では、エントリーシート(ES)の基本的な考え方・書き方をお伝えし、それに則って課題を実施いただきます。しかし、ESの内容をより良くするために、個別指導は欠かせません。就職室(ま		☒

	たは相当する機関)や学外のリソースを活用し、専門家による添削を何度もしてもらうことを推奨します。なお、本授業においてESの個別フィードバックは行いません。																																																							
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td><td>書名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr> <td>I S B N</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr> <td>出版社</td><td></td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr> <td>金額</td><td></td><td>備考</td><td></td></tr> </table>				教科書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☒																																		
教科書1	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td><td>書名</td><td colspan="3">就職四季報(総合版、企業研究・インターンシップ版、優良・中小企業版、働きやすさ・女性活躍版)</td></tr> <tr> <td>I S B N</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr> <td>出版社</td><td>東洋経済新報社</td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr> <td>金額</td><td></td><td>備考</td><td>※最新版をお勧めします</td></tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td><td>書名</td><td colspan="3">会社四季報 業界地図</td></tr> <tr> <td>I S B N</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr> <td>出版社</td><td>東洋経済新報社</td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr> <td>金額</td><td></td><td>備考</td><td>※最新版をお勧めします</td></tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td><td>書名</td><td colspan="3">日経 業界地図</td></tr> <tr> <td>I S B N</td><td></td><td>著者名</td><td></td></tr> <tr> <td>出版社</td><td>日本経済新聞社</td><td>出版年</td><td></td></tr> <tr> <td>金額</td><td></td><td>備考</td><td>※最新版をお勧めします</td></tr> </table>				参考書1	書名	就職四季報(総合版、企業研究・インターンシップ版、優良・中小企業版、働きやすさ・女性活躍版)			I S B N		著者名		出版社	東洋経済新報社	出版年		金額		備考	※最新版をお勧めします	参考書2	書名	会社四季報 業界地図			I S B N		著者名		出版社	東洋経済新報社	出版年		金額		備考	※最新版をお勧めします	参考書3	書名	日経 業界地図			I S B N		著者名		出版社	日本経済新聞社	出版年		金額		備考	※最新版をお勧めします	☒
参考書1	書名	就職四季報(総合版、企業研究・インターンシップ版、優良・中小企業版、働きやすさ・女性活躍版)																																																						
	I S B N		著者名																																																					
	出版社	東洋経済新報社	出版年																																																					
	金額		備考	※最新版をお勧めします																																																				
参考書2	書名	会社四季報 業界地図																																																						
	I S B N		著者名																																																					
	出版社	東洋経済新報社	出版年																																																					
	金額		備考	※最新版をお勧めします																																																				
参考書3	書名	日経 業界地図																																																						
	I S B N		著者名																																																					
	出版社	日本経済新聞社	出版年																																																					
	金額		備考	※最新版をお勧めします																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	● 授業で使用するスライドはmoodleを利用してPDFなどで配布します。 ● 上記の参考書は大学や近隣の図書館、就職室(または相当する機関)などにあるものを活用することをお勧めです。 ● 就職室(または相当する機関)で、マイナビが提供する「業界地図」「My Activities Note(業界・企業研究のメモと整理ができるノート)」を入手することをお勧めします。 ● 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知ブラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☒																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	なし	☒																																																				
37. 教員相互参観授業公開日程					☐																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	授業に関連するご質問は原則 moodle にて受け付けます。就職活動に関する個別の質問がある場合は、各校の就職室(または相当する機関)をご利用ください。			☒																																																			
	連携大学 学生向け	授業に関連するご質問は原則 moodle にて受け付けます。就職活動に関する個別の質問がある場合は、各校の就職室(または相当する機関)をご利用ください。			☒																																																			
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール chisa-t@kochi-u.ac.jp			☒																																																			
	連携大学 学生向け	電子メール chisa-t@kochi-u.ac.jp			☒																																																			

40. 教員の実務経験	外資系企業、国内一部上場企業、国内中小企業で人事（教育・採用）経験があります。また、国家資格キャリアコンサルタントとして、多数の学生の就職活動支援も行ってきました。学生側・企業側、両方の視点に配慮しながら、就職活動のノウハウをシンプルにわかりやすくお伝えするよう努めます。	☒
41. バリアフリー対応	動画に字幕あり	☒
42. その他／備考		☐

2023年2月改訂